

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0057		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	生産システム工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	浦田 清,清野 國安						
到達目標							
各種スポーツの基本的な技術を習得し、動きとして実技の中で実践することができる。また、毎時間授 業に出席して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、個人や集団の安全に注意しながら練習や試合 に集中することができることが到達レベルである。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		標準的な到達レベルの 目安に加えて、 それぞ れの実技試験（30点満点）において、 1/3以上の点数を取る		授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に 注意し集中して熱心に授業に取り組む。加えて、各スポーツの技術についての知識を理解する。		遅刻、欠席、見学が比 較的多く、 授業に集中 しない又は熱心に取り 組まない。また、各スポーツの技術についての知識を理解しない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 A							
教育方法等							
概要	スポーツを楽しむことができるように、それぞれの種目における基本的な技術についての知識を習得 し、動きとして実践し、それをゲームに応用できるようにする。 毎時間授業に出席して、集中力をもって積極的に授業に取り組む姿勢が大切である。						
授業の進め方・方法	出欠・見学・授業態度（A-2）（70%）、実技試験（A-2）（30%）で前期期末、後期期末に 評価する。また、次に 該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルー ルを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）があった場合は、程度によって減点する。						
注意点	・健康管理に配慮して、スポーツ実技・試験に参加すること。 ・安全に注意し、集中力を発揮して積極的に授業に取り組むこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 遠隔授業・対面授業の進め方と課題提出の説明		今年度の授業の要点を理解できる		
		2週	保健分野：心拍数と運動強度について 課題の作成と提出		心拍数と運動強度の関係について理解できる		
		3週	保健分野：人間の代謝について 課題の作成と提出		消費エネルギーと摂取エネルギーについて理解できる		
		4週	保健分野：体力について 課題の作成と提出		人間の運動とエネルギー代謝について理解できる		
		5週	保健分野：健康と運動について 課題の作成と提出		運動の身体への効果、生活習慣病について理解できる		
		6週	保健分野：運動処方とトレーニングについて 課題の作成と提出		トレーニングの目的・手段・方法について理解できる		
		7週	実技分野：ソフトボール		基本的な送球・打撃・捕球の仕方について理解できる		
		8週	実技分野：卓球		フォアハンドおよびバックハンドの基本的な打ち方を理解できる		
	2ndQ	9週	実技分野：バドミントン		フォアハンドおよびバックハンドの基本的な打ち方を理解できる		
		10週	実技分野：ゴルフ		基本的な打ち方・用具について理解できる		
		11週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる		
		12週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる		
		13週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる		
		14週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる		
		15週	前期末試験		筆記試験		
		16週	前期末試験の解答		前期末試験の内容を理解できる		
後期	3rdQ	1週	卓球		ラケットの握り方、リストワークの基本的技術の知識を習得する ラケットの握り方、リストワークの基本的技術を実践できる オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる		
		2週	卓球		実技試験		

		15週		
		16週	バドミントン ゴルフ	実技試験
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	実技試験	出欠・見学	筆記試験	課題 合計
総合評価割合	0	50	40	10 100
基礎的能力	0	50	40	10 100
専門的能力	0	0	0	0 0
分野横断的能力	0	0	0	0 0